

Japan Patent Office
Utility Model Publication Gazette

Utility Model Publication No. 39-033728
Date of Publication: November 13, 1964
International Class(es): 53 E 2
 (59 G 0)

(2 pages in all)

Title of the Invention: Hardware for Attaching Electrical
 Appliance

Utility Model Appln. No. 38-020648
Filing Date: March 29, 1963
Inventor(s): Kikutaro NAKA

Applicant(s): Limited Partnership Corporation
 Naka Denki Seisaku-sho

... omitted ...

A hardware for attaching an electrical appliance ... particularly suitable for a coupling socket, wherein warped portions 2, 2 are formed on opposite sides of a bent plate such that they continuously extend from a bottom up to bent portions 3, 3.

... omitted ...
(transliterated, therefore the spelling might be incorrect)

53 E 2
(59 G 0)

特許庁
実用新案公報

実用新案出願公告
昭39-33728
公告 昭39.11.13
(全2頁)

電気器具取付金具

実願 昭38-20648
出願日 昭38.3.29
考案者 中菊太郎
東京都港区芝田村町2の1
出願人 合資会社中電機製作所
東京都足立区千住元町52
代表者 中菊太郎
代理人 弁理士 和久井宗次

図面の簡単な説明

第1図は本実用新案電気器具取付金具の斜面図
第2図はその正面図、第3図はその側面図、第4
図は第1図におけるB-B線、C-C線およびD
-D線にそな断面構成説明図、第5図は第1図に
おけるA-A線の断面図である。

考案の詳細な説明

本実用新案は電気器具取付金具の考案に関する
もので、特に連結コンセントに適しているもので
あつて、屈曲板の両側に形成した反部2、2を底部
より屈旨部3、3まで連続的に形成して成る電気器
具取付金具である。

しかして図示のものについて説明するに、屈曲
部3、3間に挟持せしめたコンセントは屈曲板1の
中央に穿設した固定孔6に金具を挿着して固定せ
しめかかる後取付部4、4に形成した取付孔5、5を
もつて壁層面に取付けるものである。

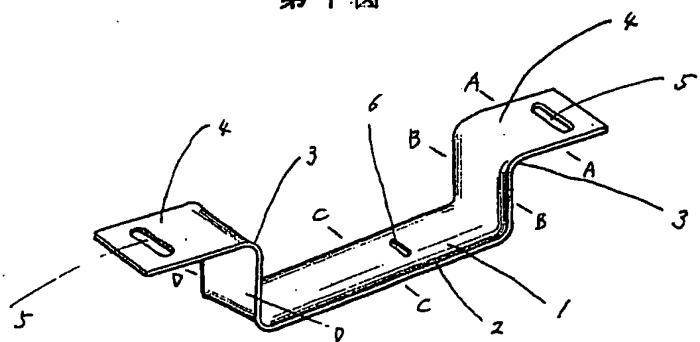
この種取付金具において従来その取付けに当り
単に屈曲凹入せしめた平板状の取付金具を用いた
ものであるから屈曲部3、3が若干の外力を受けて
容易に外方に屈曲開放せしめられて変形し原状に
回復することが困難となる欠点を有したものであ
つた。

しかるに本実用新案は上記の通りで反部2、2を
屈曲部3、3まで連続形成したことにより上記し
たような屈曲による開放性を適切に防止せしめ、
かつこのように連続した反部2、2を形成すること
により素材を適切に補強し比較的薄材のものを使
用しても上記のような屈曲変形による開放性を防
止しました屈折破損するがとき適切な防止し取付
金具全体の強度を向上せしめる等、実用上製作上
その効果大なる考案である。

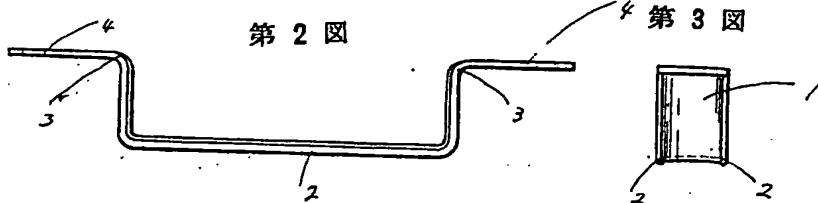
実用新案登録請求の範囲

図面に示すように屈曲板の両側に形成した反部
2、2を底部1より屈曲部3、3まで連螺形成してな
る電気器具取付金具。

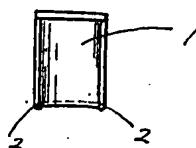
第1図



第2図



第3図



第4図



第5図

